

ひがしの子

佐久市立東小学校学校だより 令和4年6月号

【学校教育目標】豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

全力で最後までやり抜き 思い出に残った運動会！

雨の影響で一日延びてしまいましたが、6月4日(日)にはすばらしい青空と絶好のグランドコンディションの中、無事に運動会を開催することができました。昨年度より種目数を増やしての実施でしたが、ゴールまで全力で走り抜けたかけっこや短距離走、気持ちをそろえて踊った表現、全校で楽しんだ大玉運び、力が入った綱引き、的当てを楽しんだ児童会種目等、子どもたちはそれぞれの種目や応援に全力で取り組み、大きな満足感を得る事ができました。

来賓の皆様や保護者の皆様には子どもたちの精一杯の姿を応援していただきまして、ありがとうございました。また、PTA役員の皆様、男手の会の皆様を中心に準備や片づけにご助力いただきまして、感謝申し上げます。



5年生田植え体験

毎年5年生は、米作りに取り組んでいます。5月31日(水)には田植え体験を行いました。東の子応援団のボランティアの花里元明さんに植える深さや間隔、コツなどを教えていただきながら、手際よく植えることができました。今年はすべて手植えを行うことになったので、東の子応援団ボランティアの皆様と5年生保護者の皆様に加え、コーディネーター土屋一彦さんのご尽力により、地球環境高校の野球部の皆様にもご協力いただきました。田植えを終えた子どもたちは、「はじめは気持ち悪かったけど、楽しかった」「お米ができるのが楽しみ」と話していました。



田植えを教えていただいた東の子応援団ボランティアの皆様、お手伝いいただいた保護者の皆様、地球環境高校の野球部の皆様、ありがとうございました。これからも時折田んぼに出かけ、イネの様子を観察しながら生長を見守っていきます。秋の収穫が楽しみです。

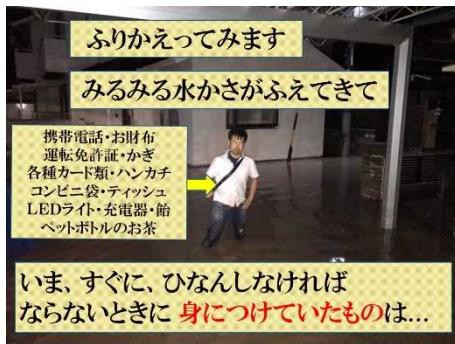
校長講話

～被災して初めて見たこと～令和元年東日本台風(19号)の経験から～

6月15日(木)の朝の活動の時間には、校長講話を行いました。これからの梅雨末期や台風などの大雨による災害が心配される時季を前に、中村校長先生ご自身が令和元年の台風19号の際に体験されたことをもとにした講話でした。

見えない水の中は危険がいっぱいなので災害時にどうしても水の中を歩かなければいけないときは「長靴やサンダルではなく、動きやすい運動靴を履くこと」や「かならず2人以上で行動すること」などについて教えていただきました。また、「災害はいつどこで起こるかわからないので、日常生活の中で時々意識していることが大切」ということについても教えていただきました。さらに、災害からの復旧の際には、家族だけでなく、職場の同僚や大勢の人たちが協力して作業を行ってくれたことやその尊さについてお話していただきました。

いざというときにあわてず、命を守る行動ができるようしっかり考える大事な機会となりました。



プール開き

4, 5, 6年生がきれいに掃除をしてくれたプールに水が張られ、水泳学習の準備が整いました。6月21日(水)にはプール開きを行い、2, 4, 6年生の代表の児童がそれぞれ今年のめあてを発表してくれました。

楽しく気持ちのよい水泳、水遊びの学習ですが、一歩間違えると命に関わる事故につながる恐れがあります。水泳のきまりを守って安全で楽しい時間にしていきます。保護者の皆様におかれましては、お手数をおかけしますが、毎日の健康観察とプールカードへの印をお願いいたします。



防犯避難訓練・防犯教室

6月23日(金)の2校時に、不審者が学校へ侵入してきた想定での防犯避難訓練を行い、その後、防犯教室を行いました。講師の佐久警察署スクールサポーターの田中隆幸さんからは、「不審者が後ろからついてきたときには大人のいるところまで全力で逃げること」や、「不審な自動車が近づいてきたときには、自動車の進行方向と逆の方へ逃げること」、「いざというときに備えるため、防犯ブザーは時々点検しておくこと」など大事なことを教えていただきました。自分の身は自分で守ることの大切さを学ぶことができました。

